

学校だより



福島県立大笹生支援学校

NO. 1 R2. 6. 1

学校長 あいさつ



雪がほとんど降ることもない暖かな冬が過ぎ、十六沼公園の桜はいつもの春よりも一足早く咲きました。

始業式の日、新型コロナウイルス感染防止のため約1か月に及ぶ休業期間を経て、学校の再開を心待ちにしていた児童生徒が登校してくる姿を見て、改めて学校が果たす役割の重要性を強く感じたところです。また、今年は、令和の時代になって初めての入学生を迎えました。入学式は、規模を縮小しての実施でしたが、入学生は呼名されると、皆、元気よく返事をしていました。

本校の教育活動は多くの方々に支えられ現在に至っております。地域の皆様を始めとして 大笹生学園や関係機関の皆様、父母と教師の会並びに教育活動後援会会員の皆様方など、たくさんの方々の多大なる御協力と御支援に感謝を申し上げます。

さて、今年度は児童生徒数256名（5月1日現在）でのスタートとなりました。本校では、児童生徒一人一人を大切にしているインクルーシブな学校（共に学ぶ学校）を目指し、全職員でセンター的機能を果たすとともに、児童生徒の卒業後の姿を大切に、連携・協働した取り組みを進めてまいります。社会の状況が日々変化する中で、学校としても今までにない対応を求められています。このような中で、本校は、県北地区唯一の知的障がい県立特別支援学校として、地域と共にある学校をめざしております。今年度も、どうぞよろしくお願いたします。

大笹生支援学校長 丹野 好恵

新入生を迎えて

4月6日（月）、本校体育館において令和2年度入学式を行い、小学部13名、中学部20名、高等部37名の合計70名の新入生を迎えました。本年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から出席者を限定し、規模を縮小しての実施となりました。入学式では校長式辞に続いて、父母と教師の会会長保科健太様より温かなお祝いの言葉をいただきました。新入生誓いのことばでは、代表の高等部生徒が大きな夢の実現のために努力していくことを誓い、在校生代表のことばでは、生徒会長が二度とない輝く学校生活の時間を自分らしく進んでほしいと歓迎のことばを述べました。祝福と暖かな雰囲気あふれた式となりました。



地域支援センターささっこ ささっこサロン 南校舎1階



「地域支援センターささっこ」をご存じですか。ささっこは・・・

- 子育ての相談の場
- 教育相談の場
- 地域の方々との交流の場 です

ぜひお気軽にお越しください。

お待ちしております。

教育支援アドバイザー藤崎哲子や本校の教育支援部員が相談に応じます。



（学校だよりはHPからもご覧いただけます。）